



「国民は戦争を望まない。しかし決めるのは指導者で、国民を引きずり込むのは実に簡単だ。外国に攻撃されつつあると言えよ。それでも戦争に反対する者を、愛国心がないと批判すればいい」

ナチス政権下で国家元帥だったヘルマン・ゲーリングの言葉

## 5野党、戦争法<sup>安保法制</sup>廃止法案を提出。選挙協力も

民主、共産、維新、社民、生活の5野党は、2月19日、戦争法廃止や国政選挙など4つの点で協力しあうことで合意しました。九条の会は全国各地で、野党は協力しあうようにそれぞれの地方の党組織に要請行動をおこなってきましたが、それが実を結びました。党首会談での確認事項は「(1)安保法制の廃止と集団的自衛権行使容認の閣議決定撤回を共通の目標とする。(2)安倍政権の打倒を目指す。(3)国政選挙で現与党およびその補完勢力を少数に追い込む。(4)国会における対応や国政選挙などあらゆる場面でできる限りの協力を行う」です。◎私たちは日本が再び戦争する国にならないよう2000万人を目標に「戦争法廃止の署名」を推進しています。同封した3.12ウォーク in あきる野のチラシの裏側に署名用紙があります。さらに署名をすすめましょう。集まり次第事務局へお届けください。3.12の秋留野広場でも集めます。



現在までの署名数

884 筆

## 九条の会が緊急記者会見

九条の会 緊急記者会見



九条の会は2月8日緊急記者会見をおこない、「安倍首相の九条の明文改憲発言に抗議する」アピールを発表しました。以下に全文。

“安倍晋三首相は、2月3日と4日と5日の連日、衆議院予算委員会の審議において、戦力の不保持を定めた憲法9条2項の改定に言及しました。その際に、「7割の憲法学者が自衛隊に憲法違反の疑いをもっている状況をなくすべきだ」という逆立ちした我田引水の理屈や、「占領時代につくられた憲法で、時代にそぐわない」という相も変わらぬ「押しつけ憲法」論などを理由に挙げました。これらは、同首相が、憲法9条の意義を正面から否定する考えの持ち主であることを公言するものに他なりません。昨年9月、政府・与党は、多くの国民の反対の声を押し切って、日本国憲法がよって立つ立憲主義をくつがえし、民主主義をかなぐり捨てて、9条の平和主義を破壊する戦争法（安保関連法）案の採決を強行しました。この時は、「集団的自衛権の限定行使は合憲」、

「現行憲法の範囲内の法案」などと、従来の政府見解さえからも逸脱する答弁で逃げ回りました。ところが今度は、そうした解釈変更と法律制定による憲法破壊に加えて、明文改憲の主張を公然とするに至ったのです。それは、有事における首相の権限強化や国民の権利制限のための「緊急事態条項」創設の主張にも如実に現れています。私たち九条の会は、自らの憲法尊重擁護義務をまったくわきまえないこうした一連の安倍首相の明文改憲発言に断固抗議します。2007年、9条改憲を公言した第1次安倍政権を退陣に追い込んだ世論の高揚の再現をめざして、戦争法を廃止し、憲法9条を守りぬくこと、そのために、一人ひとりができる、あらゆる努力を、いますぐ始めることを訴えます。”

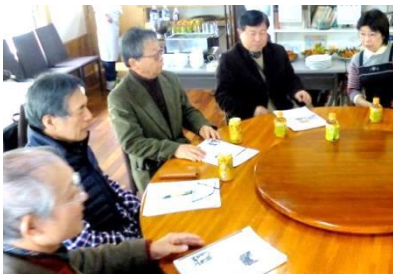
## 成人式で戦争法廃止署名を呼びかけ



あきる野市の新成人は876人。成人式会場のキララホール周辺で21人が参加して2000万人統一署名行動を行いました。新

成人やその親御さん、式に参加する市議会議員さんなど70人が署名しました。この行動中、市の職員が横断幕を持つ参加者に「許可を取っているのか？」などと干渉してくる場面もありました。公民館のチラシ配架問題や堀江市議の一般質問などにみられるように、戦争法反対の動きに対して市側の牽制姿勢が目立ち始めているようです。

なお、9条の会が2000万人署名行動を毎月29日の11時からとうきゅう前でが行うなど、市内の様々な団体が取り組んでいます。



## 五憲の会が新春懇談会

あきる野や東大和の9条の会で作る「五憲の会（五日市憲法草案の会）」の新春懇談会が1月23日に東

大和市のカフェレストラン PACE で開かれ、顧問の新井勝紘元専修大教授（五日市憲法草案の発見者）、鳥谷靖代表（東大和）、前田眞敬代表（あきる野）、鈴木富雄事務局長（あきる野）、渡辺俊彦中央大名誉教授、中野志乃夫東大和市長らが参加しました。懇談会は「憲法が危機の今、源流の五日市憲法草案を広めることが大事」、美智子皇后が「民権意識を記録するものとして、「世界でも珍しい文化遺産ではないか」と思います」と述べたことも出され、「世界文化遺産」に登録させる運動も提起されました。「五憲の会」として、2018年8月に迎える発見50周年を記念する講演会や現地見学会、行政に対して「五日市憲法草案資料館建設」の請願運動などを進めることなどが話し合われました。

## 堀江市議の一般質問でのやり取りは事実と反すると議会事務局に申し入れ

あきる野市民文化祭への9条の会の出展は昨年で5年目でした。五日市会場で問題が起きました。市の部長が「政治的ローガンは撤去か差し替え」するよう言ってきたのです。展示のうち「九条まもれ」などは9条の会としては当然で撤去できないとし「オスプレイ配備反対運動」については撤去しました。秋川会場でも同様なことを言ってきたので、どの展示がダメなのか具体的に言ってほしいとして、開会日の朝に市の職員が指摘したものについてはすべて撤去または差し替え、市側も確認しました（この時は「九条まもれ」などについては撤去を求められませんでした）。ところが12月定例市議会で堀江市議が市民文化祭で質問し「実際にはほとんど撤去していただけなかった」「市の指導に従えないような団体には今後参加していただきたくない」とし、市もこれを追認するような答弁を行いました。これに対して議会事務局と市議会議長に「事実を明らかにし、該当する質問および答弁を議事録等から削除」してほしい旨12月14日に申し入れました。しかし、「堀江市議、関谷部長に聞いたが相違ないといっていた」

などの返事があり、2月下旬議事録が公開されました。大変遺憾なことです。

## 学習会「公民館って、なんだ？」行う

学習会「公民館って、なんだ！」が21日中央公民館で行われ、60人を超える盛況でした。講師の片岡先生は公民館の原理、歴史、施設利用と利用者の課題、公民館を取り巻く状況の変化と課題などについて社会教育法の解説を含めて詳しく話し、福祉の会の土屋さんが会報「やまぼうし」配架拒否の経過と取り組み、市のチラシ・ポスター等の取扱基準について報告、宮瀧先生が学習のまとめとこれからについて話しました。参加者から質問や活発な意見が出され、学習会を知って日高市の公民館館長さんが駆け付けてくれて発言しました。学習会のあと「公民館利用者ネットワーク」をつくり活動することを決めました。



## ユナイテッド「とりま UNITE」

2月21日、高校生グループ「T - ns SOWL(ティーンズソウル)」が渋谷で5000人のデモ。「とりま UNITE(とりあえずまあ団結)」「GO VOTE(投票に行こう)」「TEENS AGAINST WAR LAW(10代は戦争法に反対)」と書いたプラや白と青の風船を手に行進しました。サウンドカーでは、高3(18)が「安保法制絶対反対」「野党は共闘」「選挙に行こうよ」と音楽に合わせてコール。「SEALDs(自由と民主主義のための学生緊急行動)」という学生の団体や「安保関連法(案)に反対するママの会」など若い世代ががんばっています。今年7月の参院選から18歳選挙権がスタートです。



## ◆3.12 ウォーク in あきる野に参加を

同封のカラーチラシをご覧ください。

## □事務局だより□

### ●速報 小林節先生があきる野に

- 9条の会講演会 5月21日午後、ふれあいセンターで。乞うご期待！詳細が決まり次第お知らせします。
- あきる野9条の会賛同署名 会員累計は1,084名。
- オスプレイ横田配備反対署名 161名を提出済み。
- 定例 A9 サポーター会 第121回は3月11日午前10時からです。会場は市役所ロビーを予定。
- インターネットでも発信中 **あきる野9条の会** **検索** でホームページ、ブログ「事務局だより」、**Facebook** をご覧ください。